

番号	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	活用効果評価結果					
					経済性	工程	品質	安全性	施工性	環境
1	KK-150058-VE	3次元点群処理ソフト(TREND-POINT)を用いた施工土量計測システム	3次元計測により生成された点群データのスムーズな解析処理により、施工前後および各施工段階での土量の差分を計算するシステム	土工	B	B	B	C	C	-
2	QS-190005-VE	現場クラウド One 現場支援機能サービス	現場の生産性向上を高める情報共有システム	CALS関連技術	B	B	-	B	B	B
3	KT-150006-VE	脂肪族系鉄筋防錆剤「サビラズ」「ハイサビラズ」	コンクリートとの付着を阻害しない鉄筋の防錆剤	コンクリート工	B	B	C	C	B	B
4	KT-180110-VE	快適オールインワンレストルーム	手洗室ユニットを増設した仮設トイレ	仮設工	D	C	C	C	C	B
5	KT-230048-VE	小黑板電子化アプリ「SiteBox」	現地形状等の略図作成、注釈表記が可能な電子黑板に関するアプリケーション技術	CALS関連技術	C	B	-	-	B	-
6	KT-170076-VE	通信一体型現場監視カメラ「G-camシリーズ」	モバイル通信を利用した全天候型・小型・軽量の通信一体型遠隔監視カメラ	電気通信設備	B	B	B	B	B	C
7	KT-210015-VE	手洗場一体型レストルーム	屋外型洋式トイレ・手洗場の機能を満たしたワンストップトイレ	仮設工	C	B	C	C	C	B
8	QS-190006-VE	VR事故体験・安全教育「ルッカ」	VR技術を活用した工事現場事故体験システム	その他	D	C	C	A	C	C
9	KT-140091-VE	インテリジェントマシンコントロール油圧ショベル	機体制御とICTの技術を活用したセミオート制御機能搭載油圧ショベル	土工	B	B	B	B	B	B
10	KT-170034-VE	3Dテクノロジーを用いた計測及び誘導システム	3次元データの解析、活用技術を用いて各計測装置と連動し現場の効率化を図るシステム	土工	B	B	B	C	B	-
11	KT-160044-VE	被膜型コンクリート表面養生剤エムキュアリング	コンクリート被膜養生剤	コンクリート工	C	B	C	B	B	B
12	KTK-160024-VE	蔵衛門Pad	電子小黑板およびクラウドサービスを利用した工事写真管理システム	港湾・港湾海岸・空港	B	B	B	B	B	-
13	KT-190101-VE	SMART CONSTRUCTION Fleet	スマートフォンを利用した建設現場の動態管理システム	土工	B	C	B	B	B	C
14	KT-180127-VE	樹脂製フェンス ルーパーフエンス	仮設トイレ向け目隠し、間仕切フェンス及び誘導路確保フェンス	仮設工	C	C	B	C	B	B
15	QS-160015-VE	アルミ合金製法面昇降階段「クリフステア」	アルミ合金製による軽量設計により、設置・解体作業の負担を軽減し、法面での安全な昇降を確保	仮設工	B	B	C	B	B	C
16	KT-150096-VE	SMART CONSTRUCTION Dashboardによる出来高・出来形管理システム	情報化施工機械の施工情報をクラウドサービス(SMART CONSTRUCTION Dashboard)で有効活用する管理システム	土工	B	B	C	C	B	-
17	QS-200052-VE	後付バックホウ3Dガイダンスシステム「スマートコンストラクション・レトロフィット」	ICT機能を有さない従来型油圧ショベルを、安価で3次元マシンガイダンスショベル化するキットおよびシステム「Smart Construction 3D Machine Guidance」	共通工	B	C	C	C	C	C
18	CB-220008-VE	合いマーク用マーカー 消えま線	5年経ってもポルトの緩みを可視化できるマーカーペン	建築	C	C	B	C	C	C
19	KT-180136-VE	ペイロードメータ装着油圧ショベル	積込重量表示機能を搭載した油圧ショベル	土工	B	B	C	B	B	C
20	KT-220099-VE	建設キャリアアップシステム現場運用支援機器 建レコキット	作業端末、ICカードリーダー、通信機器が一体となった建レコアプリを運用するユニット。	共通工	B	C	B	C	C	C
21	KT-210030-VE	どこでもカメラ	カメラの取付方法の自由度を高めることにより、多様な現場の施工進捗確認等に用いるネットワークカメラ	仮設工	B	B	B	C	B	C
22	KT-160019-VE	黒球式熱中症指数計「熱中アラーム」TT-562(ST)	携帯可能な黒球式熱中症指数計で、暑さ指数WBGTをリアルタイム自動測定し、熱中症危険度をアラーム音と数値で知らせる製品	共通工	B	-	-	B	B	-
23	TH-140008-VE	分解促進型タックコート工法(スーパータックソール工法)	路面温度5℃程度の低温でも早期に分解するタックコートを実現する乳剤・促進剤・散布機械	舗装工	C	B	C	C	B	B
24	KT-200121-VE	熱中対策ウォッチ	熱中症のリスクをアラームとLED表示でお知らせする熱中症予防ウェアラブルデバイス	災害対策機械	C	-	-	B	B	-
25	QS-190061-VE	アクティブネット(変状確認システム/簡易設置カメラ)	コンセントに挿すだけで運用可能なクラウド録画型カメラを用いたブラウザで閲覧可能な遠隔映像監視システム	電気通信設備	B	C	B	B	B	-
26	KK-220024-VE	KYスマートフレーム	危険な看板浮き上がりをすっきりカバー、ビスが隠れる樹脂製看板用プロテクター	共通工	C	C	B	B	C	C
27	KK-160043-VE	3次元モデルを利用したBIM/CIMコミュニケーションシステム TREND-CORE	設計図面や3次元計測データを元に施工現場を3次元モデルで表現したり、VR(バーチャルリアリティ)で体感することで、現場状況や施工手順の把握、情報共有を支援するBIM/CIMコミュニケーションシステム	土工	C	B	B	C	B	-

事後評価の凡例	
A	従来技術よりきわめて優れる
B	従来技術より優れる
C	従来技術と同等
D	従来技術より劣る

令和6年6月現在

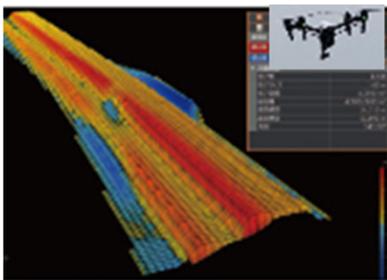
※NETIS掲載期間終了技術を除く

01

3次元点群処理ソフト (TREND-POINT)を用いた 施工土量計測システム

KK-150058-VE 活用促進

UAVの空中写真撮影やレーザスキャナ等で得た点群データを用いた3次元土量計算により、時系列土量変化を把握できる技術で、従来は、測量した断面図による平均断面法で対応していた。本技術の活用により、測量、計算時間が短縮され工期短縮と労務費の削減ができる。



02

現場クラウド One\_現場支援機能サービス

QS-190005-VE

従来の受発注者間情報共有システムに加え、「施工体制台帳の作成支援機能」及び「施工プロセスチェック機能」の活用をすることにより書類作成の時間短縮等業務効率化を実現する事ができる。



03

脂肪族系鉄筋防錆剤 「サビラーズ」 「ハイサビラーズ」

KT-150006-VE 活用促進

強靱かつ鉄筋の伸縮に追従する塗膜により、鉄筋に有効な防錆力を発揮させる。従来は、露出鉄筋にポリ塩化ビニル系チューブを被せ、工事再開時に剥がすことで対応していた。本技術の活用により、塗布作業だけの工程で防錆処理作業の短縮が図れる。



04

快適オールインワンレストルーム

KT-180110-VE

洋式トイレと手洗器一体型の仮設トイレで、従来は和式仮設トイレと手洗器の個別設置で対応していた。本技術の活用により、仮設工程の簡略と作業負担軽減による施工性向上、PR用パネル採用、手洗場ドアレバーの不採用により作業環境の改善等が期待される。



05

小黒板電子化アプリ 「Site Box」

KT-230048-VE

移動用端末の撮影機能と連動した電子黒板のアプリケーション技術であり、従来は黒板とチョークを使用したデジタルカメラの撮影による。本技術の活用により、現場で黒板とチョークの準備が不要となるため、現場状況の撮影作業が効率化し、施工工程が短縮化する。



06

通信一体型現場監視カメラ 「G-camシリーズ」

KT-170076-VE 活用促進

遠隔現場監視を行う為にモバイル通信を利用した全天候型・小型・軽量の通信一体型遠隔監視カメラで、従来はネットワークカメラと有線端末による監視で対応していた。本技術の活用により、有線回線の設置が不要となるため、工程の短縮及び経済性の向上が図れる。



07

手洗場一体型レストルーム

KT-210015-VE

快適トイレ及び手洗場を一体化してつなげた技術で、従来は、単体型で対応していた。本技術の活用により、ゆとりある室内になり、職場環境の向上が図る。



08

VR事故体験・安全教育 「ルッカ」

QS-190006-VE 活用促進

工事現場の安全教育において、VR技術を活用した事故体験によって労働災害意識を高めるシステムで、従来は、安全教育用ビデオ視聴で対応していた。本技術の活用により、各種災害の仮想体験により危険意識を高めることができるため、安全性の向上が期待できる。



09

インテリジェントマシンコントロール油圧ショベル

KT-140091-VE 活用促進

機体制御とICTの技術を活用したセミオート制御機能搭載油圧ショベルで、従来はオペレータの目視により作業機を手動操作する運転であった。本技術の活用により、設計面を気にせずモニターの施工面を基に施工できるため、丁張、補助員の削減、省力化が期待できる。



10 3Dテクノロジーを用いた計測及び誘導システム  
KT-170034-VE

3次元データを活用した土木現場における計測作業を効率化する技術で従来はトータルステーションとレベルによる計測及び手作業での管理で対応していたが、本技術の活用により施工現場で行う計測、管理作業を軽減できるため省人化、省力化及び経済性の向上が図れる。



11 被膜型コンクリート表面養生剤エムキュアリング  
KT-160044-VE 活用促進

高性能コンクリート被膜養生剤で、従来はコンクリート養生マットで対応していた。本技術の活用により、コンクリート養生マットの設置や撤去作業が不要となり、作業工程の短縮や、廃棄物の低減が図れる。



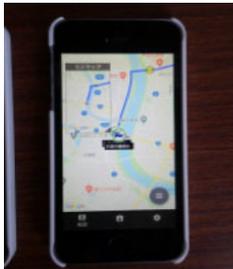
12 蔵衛門 Pad  
KTK-160024-VE 活用促進

従来、木製黒板とカメラにより工事写真撮影が行われていたが、本技術は、カメラ機能付きタブレット端末とクラウドサービスを使用し、撮影情報の入力、その情報を基にした電子小黒板入り工事写真の撮影、撮影した工事写真台帳の自動作成を一貫して行う技術となっている。



13 SMART CONSTRUCTION Fleet  
KT-190101-VE

工事車両の動態管理(アラート機能付)を行うシステムで、従来は人による工事車両の通行把握および口頭による指示を行っていた。本技術の活用により、工事車両の位置情報を一元管理しスマートフォンで情報共有できるため、経済性及び安全性の向上が図れる。



14 樹脂製フェンスルーバーフェンス  
KT-180127-VE

フェンスの幅を従来の間隔より縮小し、ルーバー式を採用した目隠し用フェンスである。従来はテント地スクリーンにより対応していた。本技術の活用により、フェンス組合せ自由度の向上による施工性、目隠し機能の向上による作業環境の向上等が図れる。



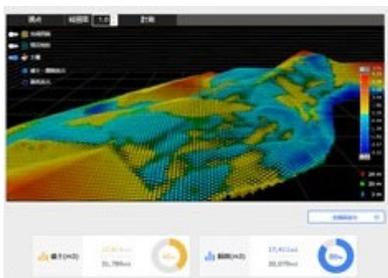
15 アルミ合金製法面昇降階段「クリフステア」  
QS-160015-VE

法面に設置する階段で、アルミ合金製による軽量設計により、設置・解体作業の負担を軽減する仮設階段である。従来は、単管パイプと自在ステップを組み合わせた階段であった。本技術の活用により、施工性の向上及び経済性の向上が期待できる。



16 SMART CONSTRUCTION Dashboardによる出来高・出来形管理システム  
KT-150096-VE 活用促進

クラウド型プラットフォームを利用した土工の出来高出来形管理システムで、従来は、人手による測量の集計で管理していた。本技術の活用により、日々の測量集計の管理が自動化され、省力化、工期の短縮及び経済性の向上が図れる。



17 後付バックホウ3Dガイダンスシステム「スマートコンストラクション・レトロフィット」  
QS-200052-VE

土工 (ICT) に関する技術である。ICT施工非対応バックホウをメーカーを問わず安価に3次元マシンガイダンスシヨベル化するキットおよびシステムで、従来は、ICT施工対応型油圧シヨベルで対応していた。本技術の活用により、経済性が向上する。



18 合いマーク用マーカー消えま線  
CB-220008-VE

屋外で5年相当後も消えない合いマーク用マーカーであり、従来技術は1年後の点検時に書いた合いマークが消え、ボルトのゆるみ確認には工具による打音検査や合いマークの再施工を必要とした。本技術により、それら確認が必要とされないため経済性が向上する。



19

パイロードメータ装着  
油圧ショベル

KT-180136-VE

油圧ショベルで掘削した土砂重量を計測しオペレータに表示する技術で、従来はトラックスケールを用いたダンプトラックの重量管理で対応していた。本技術の活用によりトラックスケールが不要となるため、経済性の向上及び工程の短縮が図れる。



20

建設キャリアアップ  
システム現場運用支援機器  
建レコキット

KT-220099-VE

作業員の就業状況等を管理するCCUSを運用するユニットシステムで、従来は、現場管理者が作業員の記入する出勤時刻の台帳整理と目視の本人確認で就業状況等を管理していた。本技術により、記入・集計・確認作業が低減され、施工性、経済性の向上が図れる。



21

どこでもカメラ

KT-210030-VE

カメラの取付方法の自由度を高めたネットワークカメラに関する技術である。従来は有線接続による単管取付による。本技術の活用により、カメラの簡易的な移設・設置が可能となり、カメラ設置の効率化による施工性の向上等が期待される。



22

黒球式熱中症指数計  
「熱中アラーム」  
TT-562(ST)

KT-160019-VE

装着・携帯可能な黒球式熱中症指数計により作業箇所毎の暑さ指数WBGTを判定し、アラーム音と数値で注意喚起する技術。従来は現場事務所等に設置されたWBGT計で対応していた。本技術の活用により、局所的な暑熱環境を捉えることが可能となり安全性が向上する。



23

分解促進型タックコート工法  
(スーパータックゾール工法)

TH-140008-VE

専用散布機により、新しく開発したアスファルト乳剤と促進剤を同時に散布することで、分解を早めたタックコート工法である。本技術の活用により、数十分を要していたタックコート乳剤の分解時間が5分以下にまで短くなるため、施工時間の短縮が図られる。



24

熱中対策ウォッチ

KT-200121-VE

熱中症の原因となる深部体温の上昇（熱ごもり）を検知する技術で、従来は現場監督者による声掛けで対応していた。本技術の活用により熱中症発症のリスクを事前に知ることが可能となり、作業現場における安全性の向上が図れる。



25

アクティブネット  
(変状確認システム  
/ 簡易設置カメラ)

QS-190061-VE

現場状況確認において、クラウド録画型カメラを用いたブラウザで複数箇所の閲覧可能な遠隔映像監視システムで、従来は、作業員による現場確認で対応していた。本技術の活用により、動画でのリアルタイム監視や分析が可能となるため、経済性、安全性、施工性が向上する。



26

KYスマートフレーム

KK-220024-VE

路上工事看板等用の樹脂製プロテクター製品の技術であり、従来は看板用プロテクター（道路工事保安施設等）で対応していた。本技術の活用により、製品耐久性の向上、歩行者の安全性向上が期待できる。



27

3次元モデルを利用したBIM  
/ CIMコミュニケーションシステム  
TREND-CORE

KK-160043-VE

工事現場を3DモデルやVRで表現し、解り易い施工計画やシミュレーションを行うことができる技術で、従来は2Dの平面図等を用いた施工管理資料を作成していた。本技術の活用により、資料作成時間短縮による労務削減、資料の品質、情報化施工の向上が期待できる。



番号	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	活用効果評価結果					
					経済性	工程	品質	安全性	施工性	環境
1	CB-170003-VR	サビバリアー	鋼構造物全般の塗替時に、工程短縮や長寿命化が可能になる下塗り塗装システム	道路維持修繕工	B	B	B	B	B	B
2	QS-180012-VE	エポコラムTaf工法(地中障害物混在地盤対応地盤改良工法)	地中障害物混在地盤においても施工可能な地盤改良工法	共通工	B	A	B	B	B	C
3	QS-190028-A	リフレッシュジョイント工法(REJ工法)	狭小部で施工可能な研削材回収型プラストシステムによる橋梁伸縮装置止水部の補修工法	橋梁上部工	事後評価未実施					
4	KT-200023-A	SPR-SE工法	管きよの非開削更生技術	上下水道工	事後評価未実施					
5	CG-190024-A	亜硝酸リチウム併用型表面含浸工法「プロコンガードシステムS」	劣化因子の遮断と鉄筋腐食抑制によるコンクリート構造物の長寿命化	道路維持修繕工	事後評価未実施					
6	QS-190020-VE	高トルク型中圧噴射機械攪拌工法(MITS工法CMS-Sシステム)	小型機を用いた中圧噴射攪拌による変位低減型地盤改良工法	共通工	B	B	C	B	B	B
7	QS-170042-VE	AR/ハンマ工法	市街地対応型全地盤対応掘削機	基礎工	B	B	B	B	B	B
8	QS-230015-A	浸透性アクリル系樹脂注入材「クラックブロック」	アクリル系樹脂注入材をローラや刷毛で塗布・浸透注入させるひび割れ補修工法	道路維持修繕工	事後評価未実施					
9	QS-220014-A	ICT地盤改良システム『Picture(ピクチャー)』シリーズシステム	ICTを活用した施工位置誘導等による効率化やヒューマンエラー防止可能な施工管理システム	共通工	事後評価未実施					
10	CG-220009-A	コンクリートキャンバス工法	表面散水で固まる特殊セメント封入布	共通工	事後評価未実施					
11	CG-220003-A	亜硝酸リチウム併用型断面修復工法「リハビリ断面修復工法」	コンクリート構造物の長寿命化を目的とした、鉄筋腐食の抑制に優れた断面修復工法	道路維持修繕工	事後評価未実施					
12	KT-210087-A	下地視認可能型省工程剥落防止工法 ダイナミックレジック クリアタフレジックイック	下地視認性を有する省工程コンクリート片剥落防止工法及びコンクリート表面保護工法	道路維持修繕工	事後評価未実施					
13	KT-210065-A	ボンドVMクリア工法	透明で下地変状が視認できる短時間施工可能なコンクリート片剥落防止工法	道路維持修繕工	事後評価未実施					
14	KT-210038-A	ハイパーボラード(耐衝撃性車止めポール)	抵抗本数1本で一定の耐衝撃性能を有するボラード	付属施設	事後評価未実施					
15	CB-210004-A	ライトバリア	落石防護柵	付属施設	事後評価未実施					
16	KT-200111-VE	繊維製かごマット「FIT-CUBE」	剛性のある化学繊維を用いたかごマット	河川海岸	B	B	C	B	B	C
17	QS-200052-VE	後付バックホウ3Dガイダンスシステム「スマートコンストラクション・レットロフィット」	ICT機能を有さない従来型油圧ショベルを、安価で3次元マシンガイダンスショベル化するキットおよびシステム「Smart Construction 3D Machine Guidance」	共通工	B	C	C	C	C	C
18	CB-200001-A	連続基礎交差点タイプ	浅層埋設対応型防護柵基礎	付属施設	事後評価未実施					
19	KT-190082-A	透明ボルトキャップ(透明ボルトアイキャップ)	鋼構造物ボルト部の透明型防錆キャップ設置および有色接着剤つばのみ接着による内部の見える化	道路維持修繕工	事後評価未実施					
20	KT-190023-A	塩分吸着型 乾き吹付工法	塩分吸着剤を混合した新たな塩害対策工法	道路維持修繕工	事後評価未実施					
21	CB-190021-VE	シラン系とケイ酸塩系の特長を併せ持つハイブリッド型表面含浸材(サンハイドロックL2)	寒冷地でも酷暑地でも施工可能なハイブリッド型表面含浸材の適用によるコンクリート構造物の長寿命化	コンクリート工	C	C	B	C	C	C
22	QS-190017-A	FDドレンRE(取替容易タイプ)	インサートアンカー付鋼製排水溝	橋梁上部工	事後評価未実施					
23	TH-190004-A	パッチシールクロスによる漏水対策工法	パッチシールクロスと導水パイプを使用したボックスカルバート内側目地の止水	道路維持修繕工	事後評価未実施					
24	KT-180143-A	ローピングウォールⅡ	高精度給糸装置を用いた長繊維混入補強土吹付工	共通工	事後評価未実施					
25	KT-180077-A	セルガード	フライアッシュと亜硝酸系の鉄筋防錆剤を用いた、ポリマーセメント系防錆モルタル	道路維持修繕工	事後評価未実施					
26	KT-180064-A	ポリウレタ樹脂(ライノ・エクストリーム)を用いた道路橋・伸縮装置の防水補修工法	ポリウレタ樹脂を用いて、道路橋・伸縮装置の防水性能を改善・向上させることを目的とする塗膜防水補修工法	橋梁上部工	事後評価未実施					
27	QS-180049-A	ゴム劣化取替工法	橋梁用ジョイント伸縮ゴム材撤去後、樹脂材で補修する工法	橋梁上部工	事後評価未実施					

事後評価の凡例	
A	従来技術よりきわめて優れる
B	従来技術より優れる
C	従来技術と同等
D	従来技術より劣る

令和6年6月現在

※NETIS掲載期間終了技術を除く

01 サビバリヤー

CB-170003-VR

鋼材の再塗装時に、残存してしまう赤錆が腐食の進行の原因となっていたが、その赤錆を塗装により黒錆へ転換させることで、長寿命化や工程短縮が可能になる錆転換下塗り塗装技術。

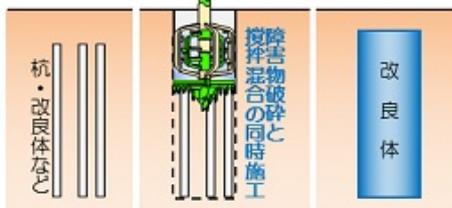


02 エポコラムTaf工法 (地中障害物混在地盤対応地盤改良工法)

QS-180012-VE 活用促進

地盤改良施工において障害となる地中障害物混在地盤における地盤改良技術であり、従来は事前に先行掘削工等の補助工法による対応が必要であった。本技術の活用により、補助工法が不要となりコスト縮減・工期短縮が可能となる。

①確認不要 ②破碎・攪拌同時 ③造成完了



03 リフレッシュジョイント工法 (REJ工法)

QS-190028-A

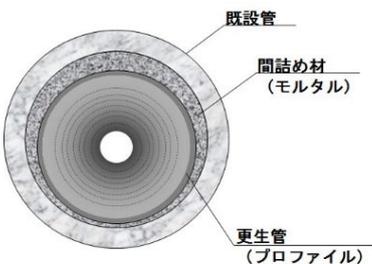
橋梁用伸縮継手装置(ゴム系ジョイント)の補修について、狭小部でも素地調整可能なプラストとシーリングにより止水機能を回復させる工法で、従来は、3種ケレン+シーリングで対応していた。本技術の活用により、伸縮継手の錆を確実に除去できるため、品質が向上する。



04 SPR-SE工法

KT-200023-A

老朽化した管路の内部に新管と同等以上の耐荷、耐久性を有する管路を構築する工法であり、従来は開削により老朽管を新管に入れ替えて対応していた。本技術の活用により、非開削で新管と同等以上の自立管構築が可能となり、工事費削減、工期短縮が図れる。



05 亜硝酸リチウム併用型表面含浸工法「プロコンガードシステムS」

CG-190024-A

亜硝酸リチウムとシラン・シロキサン系含浸材を組み合わせた亜硝酸リチウム併用型表面含浸工法である。シラン・シロキサンによる劣化因子の遮断に加え、亜硝酸リチウムによる鉄筋腐食抑制効果とアルカリシリカゲル膨張抑制効果を付加価値として備えている。



06 高トルク型中圧噴射機械攪拌工法 (MITS工法CMS-Sシステム)

QS-190020-VE 活用促進

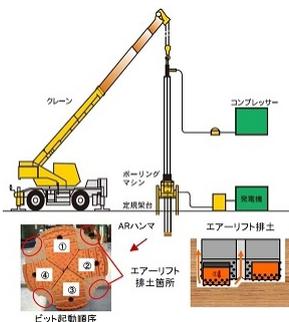
ベースマシンを専用機としたことで、高トルク型の単軸式・小型地盤改良機によるスラリ中圧噴射と逸走防止板付き攪拌翼を併用し、幅広い土質に対して従来より品質の高い円柱状改良体(φ800mm~φ1600mm)の造成と周辺地盤への変位低減が可能となる。



07 ARハンマ工法

QS-170042-VE 活用促進

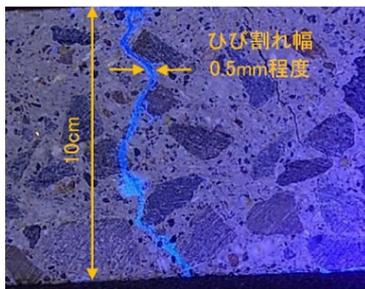
土留杭や既製杭の先行掘削において、土砂から硬岩まで土質が変化しても掘削できる市街地対応型の全地盤対応掘削機で、従来は、大口徑ボーリングマシン工で対応していた。本技術の活用により、都市部においても施工性に優れたハンマ打撃による地盤掘削が可能となる。



08 浸透性アクリル系樹脂注入材「クラックブロック」

QS-230015-A

コンクリート工のひび割れ補修に関する技術である。従来は低圧注入工法で対応していたが、本技術の活用により、注入に係る作業が削減され、ローラや刷毛による塗布浸透作業のみとなることで施工性の向上や工程短縮が可能にした。



09 ICT地盤改良システム『Picture (ピクチャー) シリーズシステム』

QS-220014-A

地盤改良施工における施工管理に関する技術である。設計図面・地盤改良機械の位置情報・地盤改良における深度、流量等の各種情報を一元化管理できることにより、施工管理の効率化、見える化や誤打設等のヒューマンエラーを防止できるICT地盤改良システムである。



10 コンクリートキャンバス工法

CG-220009-A

あらかじめ特殊セメントを内部に封入した布材(コンクリートキャンバス)に表面から水を散布・浸透させることで内包するセメントを水で満たし水和・硬化させて、薄層の高強度・高耐久ライニング層を簡易に形成する工法である。



11 亜硝酸リチウム併用型断面修復工法「リハビリ断面修復工法」

CG-220003-A

塩害・中性化によって劣化したコンクリートを亜硝酸リチウムを混入した断面修復材を用いて補修する工法である。断面修復材に用いる亜硝酸リチウムがコンクリート中へ浸透拡散し、鉄筋の不動態皮膜を再生することで高い防錆環境を構築する。



12 下地視認可能型省工程剥落防止工法 ダイナミックレジックリアタフレジックイック

KT-210087-A

特殊透明樹脂によりコンクリート片のはく落を防止する技術であり、従来はガラスクロス接着工法で対応していた。本技術の活用により、施工後に下地の劣化状況を目視確認できるため、点検及び維持管理が容易となり、また工程も短縮されているため、経済性も向上する。



13 ボンドVMクリア工法

KT-210065-A

強靱で耐候性に優れる透明なウレアウレタン樹脂を用いたコンクリート片剥落防止工法で、従来はビニロンネットと不透明な樹脂で対応していた。本技術の活用により、下地の視認、工期短縮が可能となり、安全性、経済性の向上が図れる。



14 ハイパーボラード (耐衝撃性車止めポール)

KT-210038-A

従来のボラード機能(車両の視覚的進入抑止、歩行者・危険物等への接触防止のための注意喚起等)に加えて、1本で車両の衝撃を吸収でき安全性を向上させた「ハイパーボラード」。



15 ライトバリア

CB-210004-A

軽量かつシンプルな構造で、最大73kJまでの落石エネルギーに対応可能な小規模落石防護柵である。従来は、従来型落石防護柵で対応していた。本技術を活用することにより、落石防護柵設置工において、経済性・工程・施工性等が大きく向上する。



16 繊維製かごマット「FIT-CUBE」

KT-200111-VE

剛性のある化学繊維を用いた護岸・河床用のかごマットで、従来は、一般的な被覆鉄線かごで対応していた。本技術の活用により、繊維製でも吊り上げによる変形が生じ難く、合理的なクレーンによる吊り込み施工が可能となるため、施工性および経済性の向上が図れる。



17 後付バックホウ3Dガイダンスシステム「スマートコンストラクション・レトロフィット」

QS-200052-VE

土工 (ICT) に関する技術である。ICT施工非対応バックホウをメーカーを問わず安価に3次元マシンガイダンスシヨベル化するキットおよびシステムで、従来は、ICT施工対応型油圧シヨベルで対応していた。本技術の活用により、経済性が向上する。



18 連続基礎交差点タイプ

CB-200001-A

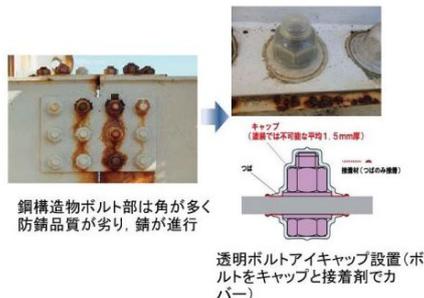
交差点や歩車分離箇所の防護柵工において、支柱建て込み深さ250mmの設置を可能にしたプレキャスト連続基礎。従来は、現場打ち基礎にて対応していた。本技術を活用することで、浅層埋設物の被りが浅い箇所への防護柵設置や工期短縮に期待できる。



19 透明ボルトキャップ  
(透明ボルトアイキャップ)

KT-190082-A

透明ボルトキャップつばのみ接着工法で鋼構造物のボルトを防錆するものである。従来は有色キャップ内に有色接着剤を充填していた。本技術の活用により、ボルトが劣化した場合、点検時透視ができるので、早期対策が可能となり鋼構造物の安全性向上が図れる。



20 塩分吸着型 乾式吹付工法

KT-190023-A

塩分吸着剤を混合したポリマーセメントモルタル(PCM)乾式吹付けによる断面修復工法で、従来は吸着剤を混合しないPCM乾式吹付けであった。本技術の活用により有害な塩化物イオンを吸着して無害化するため、さらなる高耐久性断面が形成でき品質の向上に繋がる。



21 シラン系とケイ酸塩系の特長を併せ持つハイブリッド型表面含浸材(サンハイドロックL2)

CB-190021-VE

表面を疎水化しながら空隙の閉塞を同時に行うことで高い長寿命化効果を持つハイブリッド型表面含浸材である。従来のシラン系とケイ酸塩系の特長を併せ持っている。本技術を使用すればどのような現場でも高い保護効果を発揮することが期待できる。



22 F D ド レ ン R E  
(取替容易タイプ)

QS-190017-A

鋼製排水溝の新設時において取替時の維持管理性を考慮した場合、別途インサートアンカーの取付施工を行った後に鋼製排水溝の設置を行っていた。本技術は鋼製排水溝とインサートアンカーを同時に施工出来る為、施工性の向上が期待出来る。



23 パッチシールクロスによる漏水対策工法

TH-190004-A

ボックスカルバート内側目地からの漏水対策に使用されている樋設置工法の代替として使用される技術である。本工法により、従来の課題であった施工部と通行車輛上部の接触による樋の破損が低減出来る上、シートを貼付するだけの工法の為、大幅な工期短縮に繋がる。



24 ローピングウォールⅡ

KT-180143-A

長繊維混入補強土層を高精度給糸装置を用いた吹付作業により造成する法面安定工法で、従来は、現場吹付砕工で対応していた。本技術の活用により、鉄筋組み立て作業が不要となり、作業の省力化・経済性の向上が図れる。



25 セ ル ガ ー ド

KT-180077-A

コンクリート構造物を補修する技術で、従来はポリマーセメントモルタルにより補修を行ってきたが、残存錆や塩分の侵入で、再劣化が起こり易かった。本技術の活用により、再劣化を防止できるようになり、コンクリート構造物の耐久性の向上が図れる。



26 ポリウレア樹脂(ライノ・エクストリーム)を用いた道路橋・伸縮装置の防水補修工法

KT-180064-A

ポリウレア樹脂を用いた道路橋・伸縮装置の防水補修工法で、従来は、弾性シーリング材充填工法等で対応していた。本技術の活用により、短時間でより耐久性に優れた防水塗膜を形成する事ができ、道路橋・伸縮装置の長寿命化が図れる。



27 ゴム劣化取替工法

QS-180049-A

橋梁用伸縮継手補修工事において、突合せ型ゴムジョイントなどの劣化した伸縮ゴムの部分を撤去し、新たに伸縮性に優れた樹脂材を充填する橋梁用伸縮継手補修工法で経済性・施工性の向上が期待できる。

